

沈み込み帯の科学と 海洋観測技術

1. 笠原順三；沈み込み帯の科学と海域地震観測

1 章 沈み込み帯の地球科学（地球物理）

2. 木下肇・土屋利雄……………南海トラフ科学のモダナルシフト—データベース構築の新戦略—
3. 末廣潔……………プレート沈み込み帯の地震・固着・ダイナミクス
4. 小平秀一……………プレート境界変動現象を規定する沈み込む海洋性地殻—南海トラフ地震発生帯構造研究の結果から—
5. 平田直……………地殻内の流体の分布はどこまでわかったか
6. 鶴哲郎・朴進午・金田義行……………反射法地震探査から見る沈み込み帯の断層形態
7. 藤江剛・望月公廣・中村美加子・笠原順三……………三陸沖の地震活動とプレート境界面の物性
8. 日野亮太……………三陸沖におけるプレート境界微小地震の震源分布と反射法地震探査イメージ
9. 徳山英一・伊藤謙・海洋調査研究会一同……………海域地震探査の将来
10. 富士原敏也・小尾亜由美・野田裕美子・木戸ゆかり……………日本海溝周辺の地磁気異常と沈み込む海洋プレートの磁化構造
11. 篠原雅尚・日野亮太・吉沢隆史・西野実・佐藤利典・末廣潔……………海底地震観測による福島沖プレート境界の地震活動
12. 望月公廣・藤江剛・佐藤利典・笠原順三……………紀伊半島沖南海トラフ沿い東南海・南海地震断層境界における、地殻構造不均質
13. 山野誠・濱元栄起……………南海トラフ沈み込み帯の熱流量分布と温度構造
14. 飯高隆・武田哲也・藏下英司・河村知徳・金田義行・岩崎貴哉……………東海地域における地下深部の反射面
15. 上村彩・笠原順三……………伊豆・小笠原沈み込み帯のプレート境界における蛇紋岩の存在可能性とFDMシミュレーションを用いたQ構造の推定
16. 佐藤利典・笠原順三……………海底地震観測による伊豆・小笠原島鳥沖の地震活動とスラブ、マントルウェッジ構造
17. 高橋成美……………北部伊豆小笠原原弧の構造と海洋性島弧成長過程
18. 佐藤利典……………海陸プレート境界域での構造調査と構造 Web データベース—地震研備船について—
19. 三浦誠一・鶴哲郎……………PS 変換波取得をめざしたエアガンアレイ指向性実験

2 章 沈み込み帯の組成と物質科学（岩石学）・生命圏

20. 鳥海光弘……………シールドクラックの岩石学—そのキネマティック—
21. 岩森光……………化学組成データと主成分・独立成分分析
22. 佐々木智之・玉木賢策……………日本海溝陸側斜面前縁部の海底地形と宮城沖での侵食の進行
23. 藤岡換太郎・他……………伊豆・小笠原弧とマリアナ弧会合部に位置する母島海山の成因に関する一試論
24. 三浦亮・笠原順三・佐藤利典・五十嵐千秋・石井輝秋……………母島海山におけるマルチチャンネル反射法地震探査の結果
25. 河村雄行……………粘土と粘土鉱物のナノ力学挙動
26. 川野潤・三宅亮……………分子動力学法計算による上部マントル構成鉱物の弾性特性
27. 長沼毅……………沈み込み帯の地下生物圏
28. 山岸明彦……………海洋における微生物学的観測技術—遺伝子解析の基礎—
29. 眞砂英樹・倉本真一・平朝彦……………南海トラフ巨大地震発生帯における長期孔内計測の実現に向けて

3 章 海洋観測技術（海底地震計、海底地殻変動、海底電位差・磁力計）

30. 歌田久司……………海底電磁気観測による沈み込み帯のイメージング
31. 金沢敏彦・山田知朗・篠原雅尚・酒井慎一・望月将志……………海溝型地震研究に活躍する「海底地震観測ロボット」
32. 塩原 肇・金沢敏彦・深尾良夫……………機動的広帯域・長期海底地震観測で地球内部を覗く
33. 藤本博巳・三浦 哲・日野亮太・木戸元之・長田幸仁……………海底地殻変動観測による沈み込み運動の現場観測
34. 富山新一・矢吹哲一朗・寺井孝二・長屋好治……………海底の 2 点間における精密音響測距
35. 浅田 昭・他……………海底ステーションを基地とする海中観測ロボットによる自動海底地殻変動観測手法の開発
36. 土岐知弘・角皆潤・蒲生俊敬……………時系列採水装置による南海トラフ付加体の地球化学的観測
37. 浦環・小原敏史……………海底を観測する自律型海中ロボット—r2D4 のロタ海底火山観測と将来展望—
38. 西澤あずさ・鈴木雅也・松田滋夫……………海底熱水活動把握のための小スパンハイドロフォンアレイシステムの開発
39. 芦寿一郎・他……………自航式深海底サンプル採取システム NSS による精密照準採泥と機器設置
40. 伊勢崎修弘……………地磁気ポテンシャルによる磁化構造解析—地磁気 3 成分異常の応用

4 章 海洋観測技術（海底ケーブル）

41. 三ヶ田均・他……………海底ケーブル式海洋観測技術の進化と世界の動向
42. 白崎勇一・他……………海底通信ケーブルを再利用した海洋地球観測システム
43. 門馬大和・岩瀬良一・満澤巨彦……………相模湾初島沖深海底総合観測ステーション—初島沖ステーション 1 号機と 2 号機—
44. 門馬大和・満澤巨彦・川口勝義・藤原法之……………「海底地震総合観測システム」1 号機（室戸沖ステーション）
45. 川口勝義・他……………北海道釧路十勝沖海底地震総合観測システムとリアルタイム機動観測
46. 川口勝義・小島淳一・門馬大和・白崎勇一……………多目的観測システム構築のための作業技術
47. 浅川賢一・白崎勇一・三ヶ田均・川口勝義……………次世代の多目的観測ケーブルネットワーク

5 章 関連する科学と技術

48. 片尾浩……………陸の上の水っぽい話—特に近畿地方内陸部における深部流体について—
49. 松本剛・木村政昭……………海山の海溝での挙動—南海トラフ、バブアニューギニア海溝を例として—

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

